

NEWS LETTER

OCTOBER 2002

NO.2

CONTENTS

「ベンチレーション・ウォール・パネル工法」を開発……………	1
自由設計の壁「間仕軽ウォール」を開発……………	3
東栄住宅の2支店で「ISO9001」を追加取得……………	4
会社概要……………	5

平成14年10月8日

*本資料は、国土交通記者会および国土交通省建設専門紙記者会で配布しています。

この件に関するお問い合わせ先
株式会社東栄住宅（証券コード：8875）
東京都西東京市芝久保町四丁目26番3号
担当：総務部 小山、本間
電話番号：0424 63 8845
ホームページ：<http://www.touei.co.jp>

「ベンチレーション・ウォール・パネル工法」を開発

「木造住宅合理化システム」の認定を取得

壁体内結露を防止し、工期の短縮化を実現

株式会社東栄住宅では、このほど壁体内の結露を防止するとともに、大幅な施工の省力化と工期短縮を図るため、「ベンチレーション・ウォール・パネル工法」を開発し、平成 14 年 10 月 7 日に、(財)日本住宅・木材技術センターより「木造住宅合理化システム」の認定書が交付されました。

< 「ベンチレーション・ウォール・パネル」の特長 >

「ベンチレーション・ウォール・パネル」とは、間柱や構造用面材、断熱材などを一体化した通気層付の「通気耐力壁パネル」です。この「通気耐力壁パネル」と工場プレカットにて通気用の欠き込みをした横架材を用いることで、現場での特別な施工をすることなく壁体内通気を実現するものです。

この新パネル工法の開発により、構造材の標準化が可能になると同時に、断熱一体型(通気層付)壁パネルの採用により、施工の省力化と効率化が実現し、同施工にかかる工期を従来の 75 日から 60 日に短縮(20%程度短縮)することができます。

また壁体内通気の実現により、外壁と内壁の温度差によって生じる壁体内の結露が防止でき、構造躯体の劣化を軽減することができます。

なお、弊社では「ベンチレーション・ウォール・パネル工法」の開発において、横架材と柱を固定するための「構造用接合金物」を新たに開発し、8 月 30 日付けで「特許願」を提出いたしました。



工場プレカットによる横架材の通気欠き込み



工場生産した「通気耐力壁パネル」を施工

< 従来の施工方法 >

従来は、外壁通気を可能とする構造は、施工現場で面材または構造材に胴縁を固定し、その上にサイディングなどを施工することで壁体内の通気を確保するのが一般的でした。

< ベンチレーション・ウォール・パネル工法 >

新工法：ベンチレーション・ウォール・パネル工法（通気耐力壁パネル）

特長： 構造材の標準化および断熱一体型（通気層付）壁パネルの採用により、施工の省力化と現場の工期短縮（75日から60日へ15日の短縮化）

構造用面材による根太の省略および先行床張り工法によって、作業の効率化と安全性の向上

壁体内通気の実現により、壁体内の結露が防止でき、構造躯体の劣化を軽減

保証・維持管理： 自社のアフターサービス基準による10年保証を行うとともに、（財）住宅保証機構の住宅性能保証制度を活用

自社のアフターサービス基準に定めた部位を引き渡し後、3ヶ月、1年、2年の定期点検を実施。

< 「構造用接合金物」の特許 >

1. 四法区分 : 特許願
2. 名称 : 構造用接合金物
3. 出願日 : 平成14年8月30日
4. 出願番号通知 : 特願2002-255051
5. 特許請求の範囲 :

横架材に柱を固定するための構造用接合金物であって、矩形状の基板部と、この基板部の対向する2辺からそれぞれ取り付けられる前記柱の側面に沿って垂直方向に延び、前記柱を挟持する側板部とからなる金物本体、および、前記基板部から所定の高さに前記柱の取付面を保持するための係止部からなり、前記金物本体の各側板部には前記柱を接合するための締結孔が、また基板部には前記横架材に接合するためのボルト孔がそれぞれ形成されていることを特徴とする構造用接合金物。

自由設計の壁「間仕軽ウォール」を開発 顧客ニーズに合わせて自由に間仕切りが可能に

株式会社東栄住宅では、このほど、広いスペースを簡単に間仕切りできる「間仕軽ウォール」を南海プライウッド株式会社（本社：香川県）と共同開発いたしました。

「間仕軽（マジカル）ウォール」は、新築家屋や介護住宅でもお客様の間取りの要望にお応えするために当社が開発したオリジナル商品です。間仕切りのための「壁」として利用できるのはもちろん、お客様の要望により「クローゼット」「吊り棚セット」「飾り棚セット」「本棚セット」「ハンガーパイプ」「ドア」などのアイテムと組み合わせて利用できるものです。

家族のライフスタイルに合わせて将来のリフォーム時にも、取り外しや移動、さらに様々なアイテムとの取り替えが簡単にできます。

間仕軽ウォールの取り付けは、床、壁、天井を仕上げたあとですので、短時間の施工で、かつ残材やゴミもほとんどでません。またドアの取り付け、L字施工が可能ですので、どんな間取りも自由自在に作ることができます。

色柄は「メイプル」と「ホワイト」の2種類で好みに応じて選択できます。



写真左から、内装ドア・枠セット、本棚セット、飾り棚セット、クローゼット、間仕切り壁パネル（コンセント）

東栄住宅の2支店で

「ISO9001」を追加取得

株式会社東栄住宅では、本年9月20日付けで、調布支店、久米川支店が品質管理の国際規格である「ISO9001」の認証を取得いたしました。

弊社では、昨年12月、本社、別館、中野支店、世田谷支店、立川支店ですでに「ISO9001」を取得しておりますので、今回の2支店の追加取得により、弊社東京事業部の全支店で同規格を取得したことになります。

今回新たに調布支店、久米川支店が取得したISO9001の認証範囲は、前回同様、新築戸建分譲住宅の設計、施工および付帯サービスなどの業務全工程にわたるもので、財団法人日本規格協会より認証を受けました。

また、同時に第1回定期維持審査におきましても、上記東京事業部全支店の登録維持が承認されました。

弊社では、「良質で廉価な住宅を、より多くの消費者に供給するため、日本独特の施工手法、管理手法の改革、住宅資材等の流通経路の簡素化」など弊社の品質方針に基づき、昨年7月より全社一丸となりISO9001取得に取組み、この度の2支店での追加取得により東京事業部の全支店で同規格を取得することとなりました。

また今後は、東京事業部以外（埼玉、神奈川、千葉）の各事業部のISO9001取得を目指してまいります。

適用規格：JIS Z 9901：1998、ISO 9001：1994

追加登録対象：株式会社東栄住宅調布支店、久米川支店

対象範囲：新築戸建分譲住宅の設計、施工および付帯サービス

審査登録機関：財団法人日本規格協会

登録番号：JSAQ1322

登録変更日：平成14年9月20日

会社概要

会 社 名：株式会社 東栄住宅

上 場：東証1部(2002年1月4日東証1部上場)

設 立：1951年3月10日

本社住所：東京都西東京市芝久保町四丁目26番3号

代表取締役社長：佐々野 俊彦

資 本 金：22億800万円

売 上 高：861億7700万円(平成14年1月期)

販売実績：戸建分譲住宅2,123棟、
分譲マンション156戸(平成14年1月期)

従業員数：493人(平成14年7月末現在)

本 店：東京都西東京市

支 店：28支店(都内10支店、埼玉県内7支店、神奈川県内6支店、千葉県内5支店)
東京支店、浦和支店、柏支店、深谷支店、町田支店、川越支店、千葉支店、
藤沢支店、日吉支店、小岩支店、横浜支店、中野支店、世田谷支店、大宮支店、
平塚支店、越谷支店、坂戸支店、松戸支店、船橋支店、立川支店、志木支店、
西新井支店、相模原支店、調布支店、久米川支店、海老名支店、成増支店、
浦安支店

マンション事業部：東京都新宿区

法人事業部：東京都新宿区

事業内容：戸建住宅分譲事業、マンション分譲事業、注文住宅事業、リフォーム事業